

お話に親しもう！

知的障がい 中学部3年
国語 「お話に親しもう」
読書指導

ねらい

- 絵本の読み聞かせを通して、登場人物や出てきた順番などの簡単な内容を読み取る。
- 登場人物に親しみをもち、絵本の楽しさやおもしろさを自分なりに感じて、進んで本に親しもうとする。

学 習 展 開

- ① 大型絵本『ともだちや』の読み聞かせを聞く。
(読み聞かせ：司書教諭)
- ② だれが、どんな順番で出てきたか、発表する。
- ③ マルチメディア DAISY 図書『ともだちや』を視聴しながら、登場人物や出てきた順番を確かめる。
- ④ 『ともだちや』のどんなところがおもしろかったか、感想を言う。
- ⑤ 『ともだちや』シリーズの紹介を聞く。
(紹介：学校司書)



◆司書教諭と学校司書の関わり

- 司書教諭が、『ともだちや』の大型絵本の読み聞かせを、学校司書は、『ともだちや』シリーズの絵本を紹介する。
- 司書教諭と学校司書は、生徒がどのようなお話に親しむことができるか、読書の興味・関心や理解の程度、文字や漢字の読みなどの実態について担任より事前に情報を得る。
- 本時で読み聞かせたい本やシリーズ、授業の進め方について、事前に司書教諭と学校司書、担任で打ち合わせを行う。

★指導のポイント

- ◆ 集中して絵を見たり、お話を聞いたりできるように「大型絵本」や「マルチメディア DAISY 図書」を活用する。
- ◆ 「だれが」「どんな順番」で出てきたか、クイズ形式で楽しく取り組めるようにする。
- ◆ 始めに「大型絵本」の読み聞かせを行い、次に文字がハイライトされる「マルチメディア DAISY 図書」を使うことで、より文字を意識できるようにする。

資料

大型絵本・マルチメディア DAISY 図書・DVD 『ともだちや』
ともだちやシリーズ『ごめんねともだち』『あいつもともだち』『ともだちくるかな』
『ともだちひきとりや』『あしたもともだち』『ありがとうともだち』他